

財務状況の分析

区 分	内 容																
財務上の特徴	<p>当市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、面積は65km²である。水道事業は昭和39年に給水を開始し、給水人口約89千人、普及率99.6%である。水源は約80%が県水、20%が自己水（井戸）である。</p> <p>当市の水道事業は、供給単価及び給水原価について県内市平均を下回る低い水準に保ちつつ、その他の経営指標においても県内市平均よりも良好な数値を維持している。（平成17年度決算における状況は下記のとおり）</p> <p>しかしながら、人口の減少に伴い給水収益はここ数年減少を続けており、そのため総収支比率及び営業収支比率については年々低下し、平成17年度決算では県内市平均を下回っている状況にある。</p> <p>経営指標（H17年度決算統計）</p> <p>供給単価 141.91円（県内市平均164.98円） 給水原価 137.84円（県内市平均165.29円） 固定資産使用効率 13.41m³/万円（県内市平均9.6m³/万円） 有収率 93.09%（県内市平均90.96%） 料金回収率 102.96%（県内市平均99.81%） 給水原価中の人件費 13.24円（県内市平均18.87円） 給水原価中の企業債利息 4.83円（県内市平均17.47円） 職員一人当たり給水人口 4,729.58人（県内市平均4,158.24人） 職員一人当たり給水量 647,134.74m³（県内市平均470,536.23m³） 職員一人当たり営業収益 92,282.68千円（県内市平均84,464.10千円） 総収支比率 106.06%（県内市平均110.05%） 営業収支比率 107.23%（県内市平均122.05%）</p>																
経営課題	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="424 1043 628 1099">課 題</td> <td data-bbox="628 1043 1473 1099">業務委託の合理化</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="424 1099 1473 1234">施設運転管理業務及び料金関係業務（検針・徴収等）の委託について、現行の委託内容や委託方法を改善し、より包括的で合理的な業務委託を行うことにより経営効率化を図る。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1234 628 1290">課 題</td> <td data-bbox="628 1234 1473 1290">定員管理</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="424 1290 1473 1379">「東松山市定員適正化計画」に基づき、平成19年度において2人を削減する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1379 628 1435">課 題</td> <td data-bbox="628 1379 1473 1435"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1435 628 1491">課 題</td> <td data-bbox="628 1435 1473 1491"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1491 628 1547">課 題</td> <td data-bbox="628 1491 1473 1547"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1547 628 1603">課 題</td> <td data-bbox="628 1547 1473 1603"></td> </tr> </table>	課 題	業務委託の合理化	施設運転管理業務及び料金関係業務（検針・徴収等）の委託について、現行の委託内容や委託方法を改善し、より包括的で合理的な業務委託を行うことにより経営効率化を図る。		課 題	定員管理	「東松山市定員適正化計画」に基づき、平成19年度において2人を削減する。		課 題		課 題		課 題		課 題	
課 題	業務委託の合理化																
施設運転管理業務及び料金関係業務（検針・徴収等）の委託について、現行の委託内容や委託方法を改善し、より包括的で合理的な業務委託を行うことにより経営効率化を図る。																	
課 題	定員管理																
「東松山市定員適正化計画」に基づき、平成19年度において2人を削減する。																	
課 題																	
課 題																	
課 題																	
課 題																	
留意事項																	

注1 「財務上の特徴」欄は、事業環境や地域特性等を踏まえて記載すること。また、経営指標等について経年推移や類似団体との水準比較などを行い、各自工夫の上説明すること。

2 「経営課題」欄は、料金水準の適正化、資産の有効活用、給与水準・定員管理の適正合理化、維持管理費等サービス供給コストの節減合理化、資本投下の抑制、民間的経営手法等の導入等、団体が認識する経営上の課題について、優先度の高いものから順に記載する。また、経営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「経営課題」で取り上げた項目の他に、経営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。